

INFO
産業技術センターのラボツアー（所内見学会）を開催します!

産業技術センターの試験機器は、研究員が試験・研究に使用するとともに、地域企業の方々にもご利用いただいています。このたび、施設の概要や機器の一部をご紹介しますラボツアーを開催します。実機をご覧いただきながら、測定・分析方法などを分かりやすくご紹介します。この機会にぜひご参加ください。

日時 7月20日(水)午後1時30分～4時10分
場所 産業技術センター(高松市郷東町587-1)
内容 施設の概要説明、機器見学
 【色彩測定装置】色の測定と管理
 【工業用X線探傷装置】物体の内部観察
 【自律多機能ロボット】スマートファクトリーの活用事例
 【匂いかぎ付きGC-TOFMS、生体機能検査装置】食品の香り評価

色彩測定装置による色の測定と管理 **スマートファクトリーの活用事例**

色を数値化し、色の違いを色差で表すことで情報共有する事例をご紹介します。

人と同じスペースで作業可能な自律型移動ロボットの仕様や活用事例をご紹介します。

工業用X線探傷装置による内部観察 **食品の香りを評価する機器のご紹介**

身の回りのものの内部がどのように見えるか体験していただけます。

食品の香気成分の見える化と香りのリラックス効果を評価する2つの機器をご紹介します。

ダイヤルゲージ内部
 匂いかぎ付きGC-TOFMS 生体機能検査装置

(申し込み・問い合わせ先) 産業技術センター ☎087-881-3175
 香川県産業技術センター ラボツアー 検索



緩衝性・デザイン性の高い「段ボール巻貼箱」は独自の強み



材料自動供給ロボット ロボ・フィーダー®



代表取締役社長の本田さん。同社エントランスの看板も段ボール製



まな新しい可能性を育んでいます。

「一般消費者向け」のニーズを切り開いた「hacom」など、さまざまな

**設備投資は大胆に
人材は広く生かす**

ユニークなものづくりの姿勢は、現在の主軸の一つである特殊強化段ボール事業や、2021年から本格的にスタートした貼箱事業、設計・デザイン部門を分社化しBtoC（二般消費者向け）のニーズを切り開いた「hacom」など、さまざま

とです。人が考えないこと、できないことにチャレンジして『面白いね』と周囲に言われる会社になろうと思いましたが」と本田さん。柔軟なチャレンジ精神を発揮しつつ、中小企業ならではの意思決定の速さを生かして「付加価値の高いスピード感」を追求し、大手メーカーが進出しづらいたノウハウを生かして培ってきた。本田さんは「これまで培ったノウハウを生かしてできることなら、段ボールにとらわれなくてもいい」と断言。「柔軟な姿勢があれば、コロナ禍のような想定外の事態や世の中の変化にも対応できる強みになります。『面白い』と『スピード』は、この発想を後進に伝えていくためのキーワード。業績が好調なものも、それをお客さまに支持していただけている証しではないでしょうか」。

めて語ってくれました。

拡大も視野に、新しい挑戦を受けました。四国外への市場

現在取り組んでいるのは、インターネットを通じたBtoC市場の開拓。副業支援サービスを利用してオンラインで広く参画を呼び掛け、大都市圏で活躍している人材がチームメンバーとしてEC事業（電子商取引）の立ち上げに参加しています。本田さんは「商品開発やマーケティングの分野で、外からの風には大いに刺激を受けました。四国外への市場

新しいものが好きな本田さんは大胆な設備投資も惜しまず、同社工場には「日本唯一」「日本初」を冠する機械設備も多数。機械の改造や開発まで手掛ける「やってみよう精神」が、同社の大きな原動力です。設備の充実実は、段ボールにデザインをプリントする印刷工程や特殊な形にカットする抜き加工の高精度化など、付加価値の向上にもつながりました。



重荷物梱包用の強化段ボール 取扱量は四国トップクラス

中小企業ならではの柔軟な対応力を武器に

一般段ボールを軸に、設計・デザインから製造物流まで自社一貫で手掛けるパッケージジコンサルディング企業、FUJIDAN。斬新なデザインの高品質プラスチック段ボール、電子部品や大型機械の輸送向けに大きくニーズを伸ばしている特殊強化段ボールなど、製品は全てオーダーメイドです。少ロット多品種のニーズに短期間で応えるフットワークの軽さが特長で、同社の工場が1日に作る製品は5〜600種にも上ります。

成長を支えているのは、数年前に代表取締役社長の本田展稔さんが打ち出した「日本をアツと驚かせる面白い会社になろう」という姿勢。「面白いとは、言い換えれば魅力的だということ

創業当時は製盆業で木材をたくさん扱っており、東讃の手袋の輸出入に木箱のオーダーを受けたことから、パッケージ事業への道が開けました。木箱から段ボール箱へとニーズが移り変わる中で大きく成長。1980年代には、全国に約3千社あった段ボール箱メーカーが3分の1ほどに減り、四国エリアでは、現在でもニーズが下降傾向にありますが、同社は、右肩上がりの業績を誇っています。

**「面白い」を付加価値に
果敢な挑戦を続ける**



面白ければやってみよう、失敗を恐れるな! 旺盛なチャレンジ精神で最前線を走り続ける、香川のものづくり企業を紹介します。

株式会社FUJIDAN
 (住所) 東かがわ市白鳥1820
 (創業) 1957年
 ☎0879-25-2381
 https://fujidan.jp/

